

カリキュラム

機構施設名： 北海道職業能力開発促進センター
実施機関名： 株式会社パワートレイン

A.バックオフィス	新技術活用	AI(人工知能)活用
-----------	-------	------------

コースのねらい	AI(人工知能)の概要とビジネスの現場におけるAIの具体的な活用場面等について理解し、AI活用に係る知識を習得する。
---------	--

講義内容	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間(H)
	1	AI(人工知能)の概要	(1) AI(人工知能)とは AIとは何か、機械学習やディープラーニングとの違いを簡単に理解し、身近な事例(音声アシスタントやメールの迷惑判定など)からAIの仕組みをイメージすることが狙いです。専門用語や基本概念をやさしく解説し、「AI＝特別なもの」という先入観をほぐします。	1.0
			(2) AI技術の基礎と種類【演習あり】 教師あり・教師なし学習や画像認識、自然言語処理など、AIが得意とする領域を把握していただきます。小規模データでも可能な活用アイデアを紹介し、Excelと連携したシンプルな予測モデルへの応用を考えます。演習では、実際のデータを見ながら「どんなことが予測できそうか」を検討します。	1.0
			(3) AI導入に向けた基礎知識 AIを導入するには、ある程度のデータ整理と社内体制づくりが必要です。本項目では、Microsoft 365など既存ツールとの連携やデータ品質の確保など、導入前に押さえておくべきポイントを学びます。簡単な演習を通じ、小規模でも始められるAI活用プランを構想します。	1.0
	2	AIの活用事例と今後の展望	(1) AIの具体的な活用事例紹介 具体的な企業事例をもとに、AIがどこで役立ち、どんな成果が得られるかを学びます。中小企業でも取り組みやすい分野(需要予測やRPAの自動化など)を中心に、導入規模や期間、効果を示します。演習では複数の事例を比較し、導入のメリットを整理して、自社への応用を考えます。生成系AI(ChatGPT、Gemini、Microsoft Copilotその他のツール等)についても解説します。	1.0
			(2) 導入時の課題と成功のポイント【演習あり】 AI導入には人材不足、データ不足、コストなどの課題があります。本項目では、小さく始めて段階的に導入する方法や、PoC(概念実証)の活用によるリスク軽減策を学びます。演習では「起こりそうなトラブルと対策」をリスト化し、社内コミュニケーションや教育で乗り越えるポイントを考えます。	1.0
			(3) AIの今後の展望と簡易ケーススタディ【演習あり】 生成系AIなど新しい潮流を概観し、ビジネスへどう活かせるかを検討します。小規模事業でも使えるクラウドAIや、Microsoft 365との連携による業務改善例を紹介し、今後の可能性を感じていただきます。演習では「社内問い合わせ対応にAIを導入する」シナリオを想定し、必要データや課題を整理します。	1.0
合計時間				6.0

カリキュラム作成のポイント	※訓練内容については当日順番が前後する可能性があります。
AIの現状とその活用方法について、座学のみならず、デモンストレーションを通じて実際の操作イメージをお伝えすることで、自社でもAIを導入できるという実感を持てるよう工夫しています。	

訓練に使用する機器等	
●機器・ソフトウェア(受講者用)	●機器・ソフトウェア(講師用・その他) Windows11 PowerPoint Microsoft 365 Copilot ChatGPT
●使用するテキスト 自社作成テキスト	●その他